

令和 3 年度 森林づくり推進支援金事業総括書

市町村名

野沢温泉村

No.	事業項目	事業名
1	木を活かした力強い産業づくり	県産材利活用事業
事業費		517,000円 (うち支援金: 515,000円)

事業目的

(別記様式第 1 号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 地域の森林・林業の現状と課題

野沢温泉村内の公共施設では県産材を利用した建物が少なく、地域の住民も県産材を利用したいという意識が低い。

よって、県産材や市町村産材の利用を促進するために、県産材の良さを普及する必要がある。

(2) 本事業の目的

県産材を利用したベンチ及び商品棚を公共の場に設置することにより、地域住民や観光客に県産材の良さをアピールすることで、県産材の普及・啓発を促すことを目的とする。

事業内容

(別記様式第 1 号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 実施場所

道の駅野沢温泉公園広場に県産材利用ベンチを 5 基設置

道の駅野沢温泉農林産物直売所に木製商品棚を 2 台設置

(2) 対象者

野沢温泉村民及び野沢温泉村への観光客

(3) 実施方法

県産材のベンチ及び商品棚を公共施設に設置

県産木材の解説パネルの設置

(4) 事業目標及び当年度事業量

①全体計画 (令和 3～4 年度)

・令和 3 年度 県産材活用事業

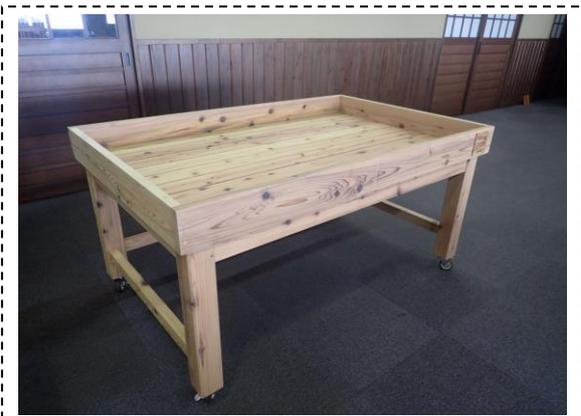
・令和 4 年度 県産材活用事業(予定)



道の駅野沢温泉公園広場



県産材表示プレート



直売所商品棚(大)



直売所商品棚(小)

事業効果

(別記様式第1号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 事業実施による効果

公共性のある場所に県産材を利用した木製ベンチ及び商品棚を設置することで、県産材の普及が図れる。

(2) 継続性

森林づくり推進支援金により、県産材製品を設置して普及啓発を行っている。設置事業を継続することにより、住民や観光客への注目を集めて普及啓発を効果的に行うことができる

(3) 普及性

公共施設や主要観光場所に設置することにより、地域住民とともに、観光客にも県産材の普及・啓発を図ることができる。

事業の検証及び評価

(実施結果を踏まえた自己評価と今後の取組方向について具体的に記載)

(1) 目標に対する成果の状況

今年度は長野県産材を利用したベンチ5基と直売所の商品棚2台を設置した。多くの観光客が訪れる道の駅で事業を実施したことにより、効果的に長野県産材の普及・啓発を行うことができた。

(2) 課題

村内で長野県産材を利用したいという意識が低いため、今後も県産材を普及する必要がある。

(3) 今後の取組方向

事業を現行どおり継続する

(今後の事業実施見込について記載)

県産材製品の設置を引続き実施し、村民及び観光客への県産材のPRを継続していく。

事業内容を見直して継続する

(見直し内容及び今後の事業実施見込について記載)

事業を継続しない

(継続しない理由を記載)